



令和元年度 上下水道事業決算の概要





水道給水状況等

項目	令和元年度	平成30年度	増減数	増減率(%)
給水人口(人)	236,753	237,498	△745	△0.3
年間総給水量(m ³)	30,008,284	30,241,223	△232,939	△0.8
年間有収水量(m ³)	25,489,678	25,785,097	△295,419	△1.1
有収率(%)	84.9	85.3	△0.4	—

下水道処理状況等

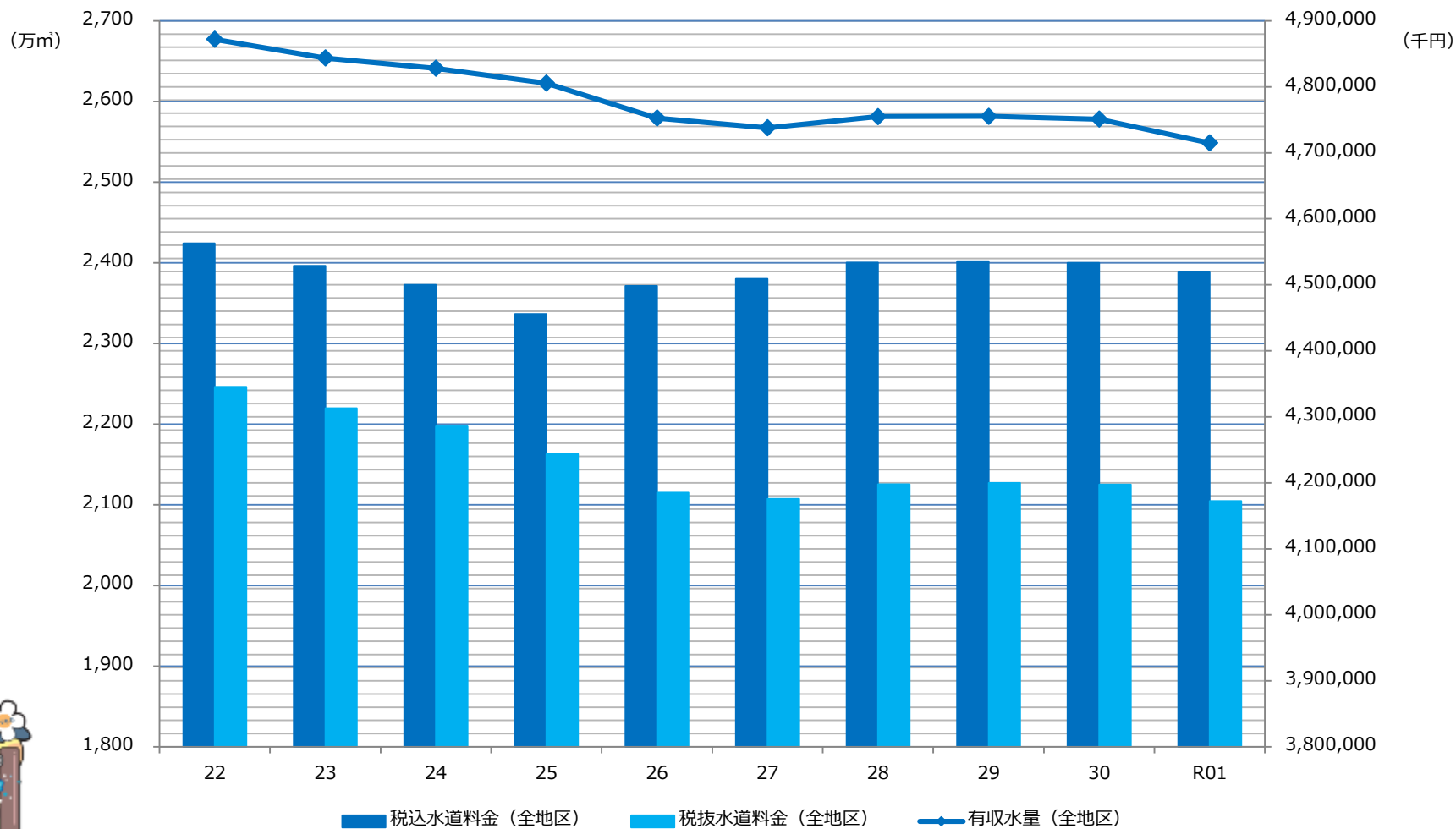
項目	令和元年度	平成30年度	増減数	増減率(%)
処理区内人口(人)	230,517	231,118	△601	△0.3
年間総処理水量(m ³)	37,426,140	38,815,105	△1,388,965	△3.6
年間有収水量(m ³)	26,830,383	27,155,799	△325,416	△1.2
有収率(%)	71.7	70.0	1.7	—





松本市上下水道局 【水道】 有収水量・水道料金の推移

【上水道全地区】 有収水量・水道料金の推移および予測（平成22～令和元年度）

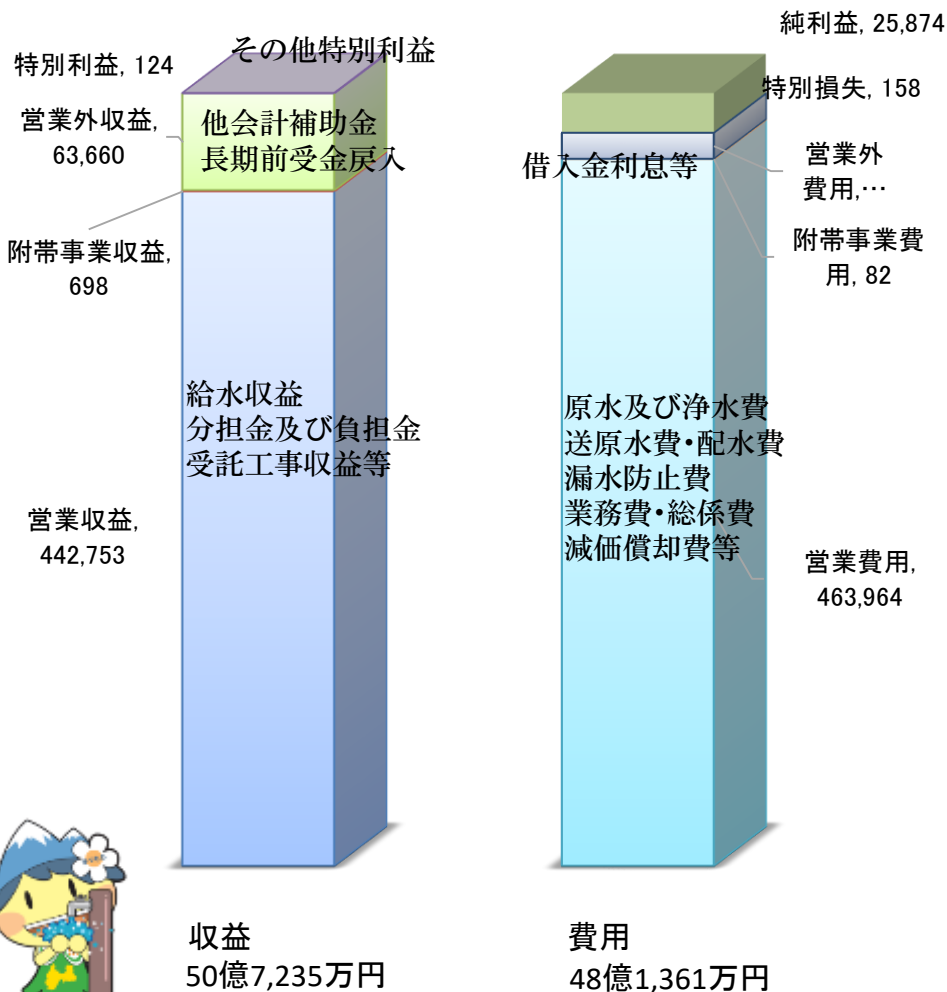


自ら健康に、水から健康に。



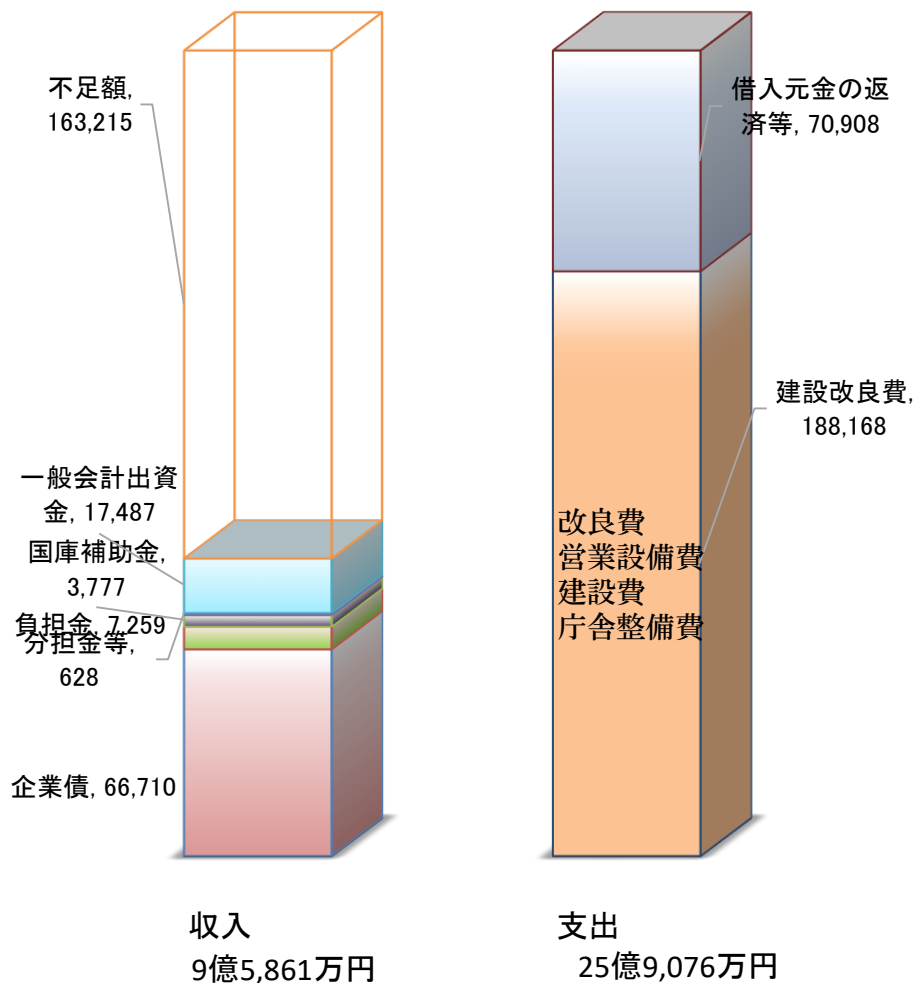
収益的収支(消費税抜き)

(単位:万円)



資本的収支(消費税込み)

(単位:万円)





水道事業

(単位:万円)

1 水道料金収入の状況 消費税抜きの額

区 分	R 1	H 3 0	増 減	
	決算額	決算額	金額	率 (%)
料金収入	416,001	419,744	△ 3,743	△ 0.9

2 水道水をつくったり、施設を管理するための収入・支出【3条予算】 ()内は消費税抜きの額

(1) 収益的収入 a	543,780 (507,235)	557,279 (523,228)	△ 13,499 (△15,993)	△2.4 (△3.1)
(2) 収益的支出 b	503,084 (481,361)	505,941 (484,184)	△ 2,857 (△2,823)	△0.6 (△0.6)
純 利 益 (a-b)	40,696 (25,874)	51,338 (39,044)	△ 10,642 (△13,170)	△20.7 (△33.7)

※結果、令和元年度の純利益は、黒字決算となりました。

3 設備投資や企業債の償還のための収入・支出【4条予算】

(1) 資本的収入 a	95,861	84,192	11,669	13.9
(2) 資本的支出 b	259,076	259,460	△ 384	△0.1
収支不足額	163,215	175,268	△ 12,053	△6.9

※支出に対し不足する16億3,215万円については、減価償却費などの
現金を伴わない支出や建設改良積立金から全額補てんしました。





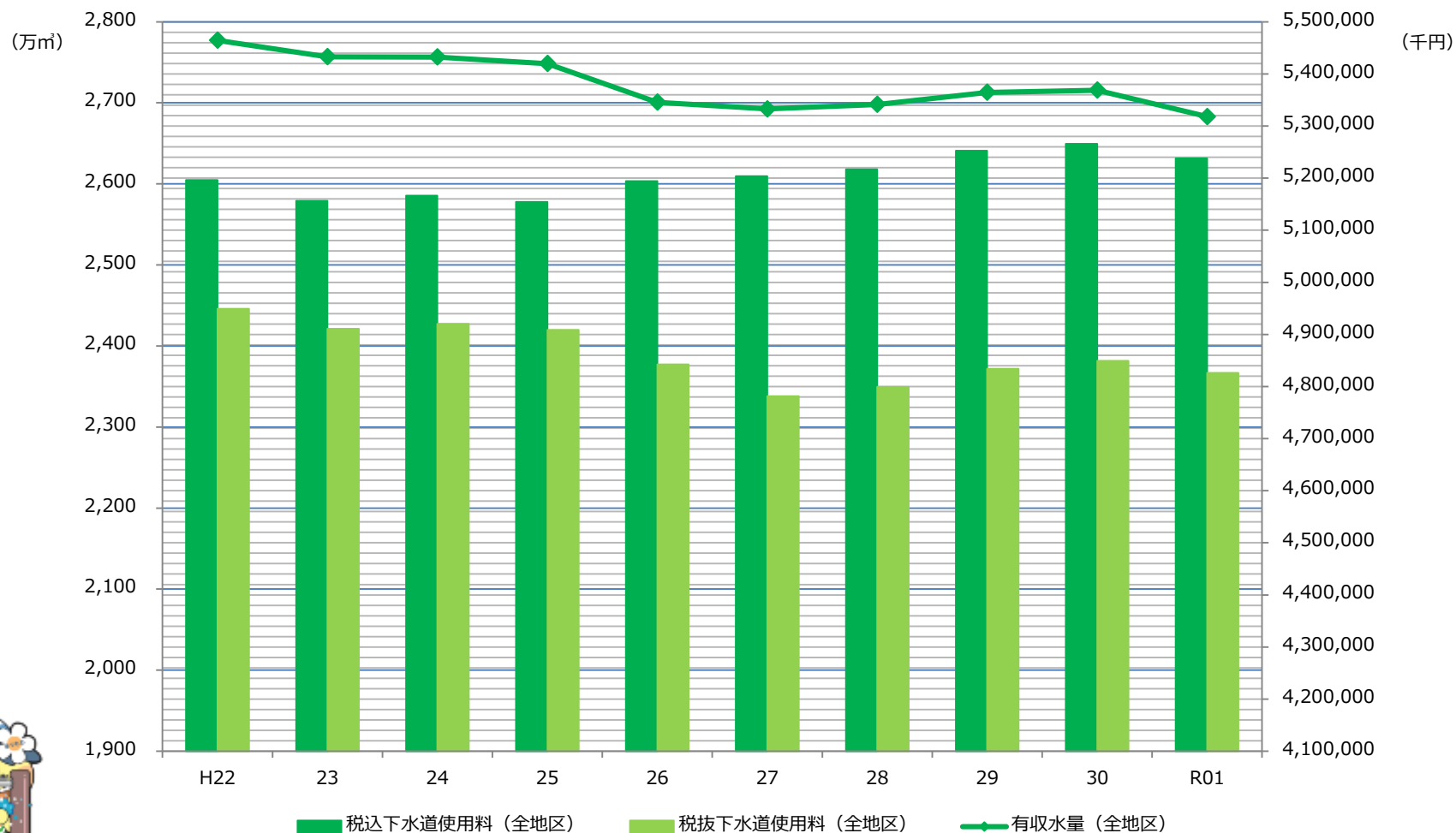
項 目	算 出 式	年度別数値			備 考
		令和 元年度	平成30年度		
			松本市	全国平均	
総収益 対総費用比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	105.4	108.1	112.7	事業全体の収支比率をみる。 比率は100%以上で高いほど良い。
流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	388.6	344.3	318.9	企業の支払能力を示し公営企業では100%以上が望ましい。
施設利用率 (%)	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{施設能力}} \times 100$	82.8	83.7	62.3	施設の利用が有効かつ適正に行なわれているかをみる。 比率は大きいほど良い。
供給単価 (円／m³)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$	163.20	162.79	169.65	有収水量1m³当たりについてどれだけの収益を得ているを表す。
給水原価 (円／m³)	経常費用－(受託工事費＋材料・不用品売却原価) －長期前受金戻入	164.84	161.81	161.82	有収水量1m³当たりについてどれだけの費用がかかっているかを表す。
	年間総有収水量				

(注) 「全国平均」は、給水人口15万人以上30万人未満の企業平均で、地方公営企業年鑑による。





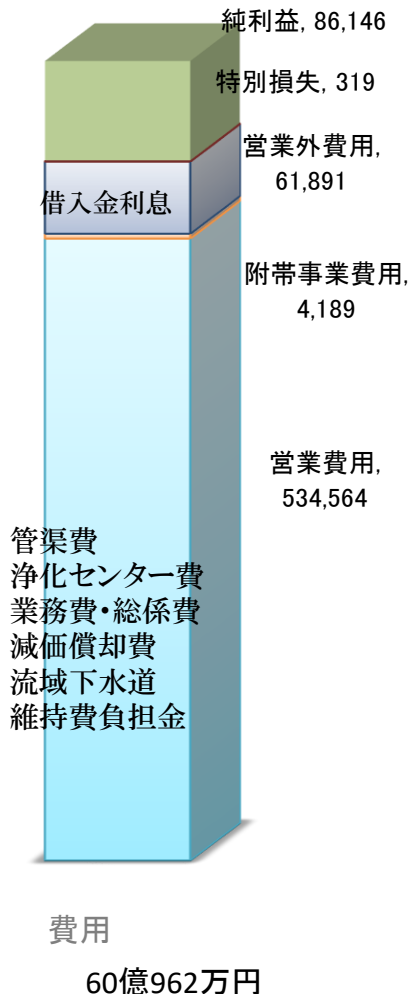
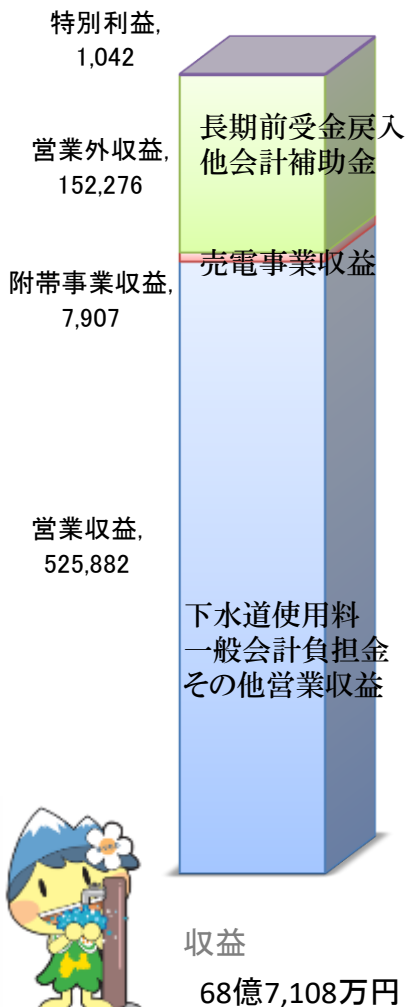
【下水道全地区】有収水量・下水道使用料の推移および予測（平成22～令和元年度）





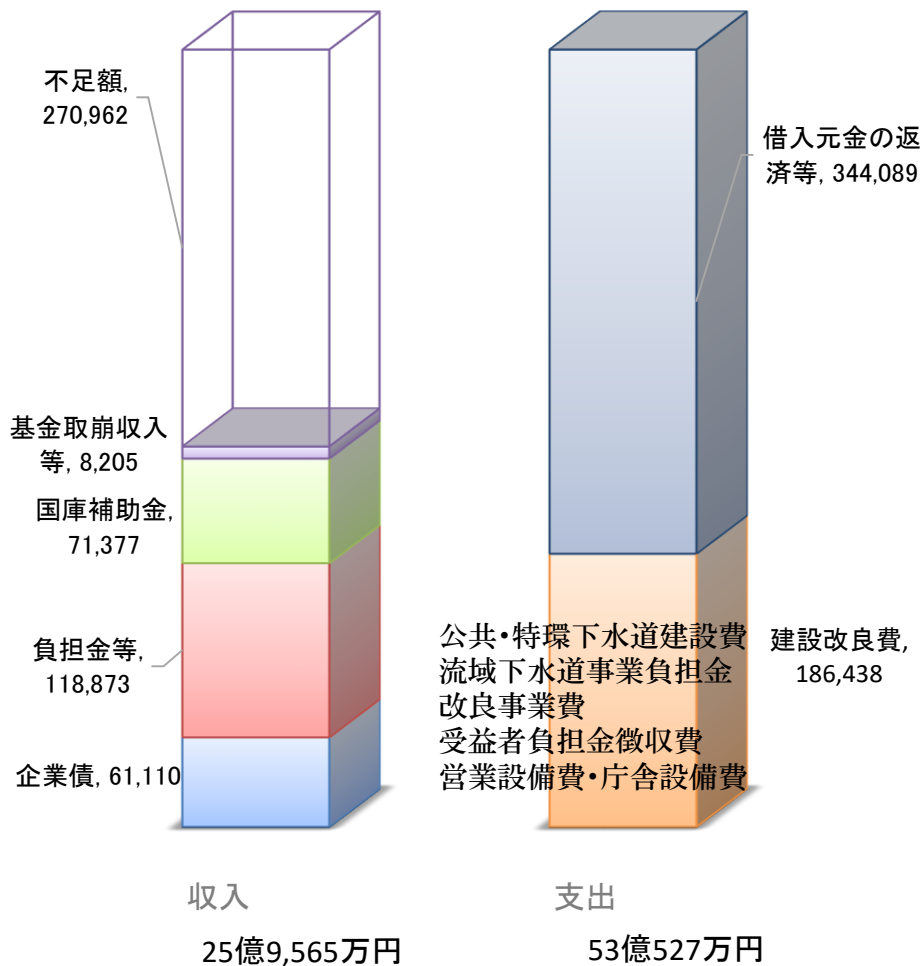
収益的収支(消費税抜き)

(単位:万円)



資本的収支(消費税込み)

(単位:万円)





下水道事業

(単位: 万円)

1 下水道使用料収入の状況 消費税抜きの額				
区 分	R 1	H 3 0	増 減	
	決算額	決算額	金額	率 (%)
料金収入	482,073	487,593	△ 5,520	△ 1.1
2 下水の処理や浄化センターなどの施設を管理するための収入・支出【3条予算】 ()内は消費税抜きの額				
(1) 収益的収入 a	729,632 (687,108)	734,614 (694,885)	△ 4,982 (△ 7,777)	△ 0.7 △ 1.1
(2) 収益的支出 b	639,195 (600,962)	651,119 (612,325)	△ 11,924 (△ 11,363)	△ 1.8 (△ 1.9)
純 利 益 (a-b)	90,437 (86,146)	83,495 (82,560)	6,942 (3,586)	8.3 4.3
※結果、令和元年度の純利益は、黒字決算となりました。				
3 設備投資や企業債の償還のための収入・支出【4条予算】				
(1) 資本的収入 a	259,565	273,071	△ 13,506	△ 4.9
(2) 資本的支出 b	530,527	506,179	24,348	4.8
収支不足額	270,962	233,108	37,854	16.2
※支出に対し不足する27億962万円については、減価償却費などの現金を伴わない支出や建設改良積立金から全額補てんしました。				





項 目	算 出 式	年度別数値			備 考
		令和 元年度	平成30年度		
			松本市	全国平均	
総収益 対総費用比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	114.3	113.5	109.4	事業全体の収支比率をみる。比率は100%以上で高いほど良い。
流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	158.9	141.0	65.7	企業の支払能力を示し公営企業では100%以上が望ましい。
施設利用率 (%)	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{施設処理能力}} \times 100$	83.7	87.0	64.7	施設の利用が有効かつ適正に行なわれているかをみる。比率は大きいほど良い。
使用料単価 (円／m³)	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{年間有収水量}} \times 100$	179.67	179.55	145.17	有収水量1m³当たりについてどれだけの使用料を得ているかを表す。
汚水処理原価 (円／m³)	$\frac{\text{汚水処理費}}{\text{年間有収水量}} \times 100$	149.66	149.58	138.82	有収水量1m³当たりについてどれだけの費用がかかっているかを表す。

(注)「全国平均」は、給水人口15万人以上30万人未満の企業平均で、地方公営企業年鑑による。

